今年こそ、狭山再審を！

狭山市民集会

5月23日、東京日比谷野外音楽堂で「狭山事件の再審を求める市民集会」がひらかれ、和歌山から23支部43人がかけつけた。

当時24歳だった石川一雄さんが、別件逮捕され、えん罪におとしいれられて今日で55年を迎えた。雨が降るなか、石川さんの一日も早い再審開始にむけ、各地から多くの支援者が集まった。

雨のなかデモ行進する和歌山のメンバー

石川一雄さんは「陥穽に嵌まって今日で55年科学の進歩の司法は無視」と歌をよみ、強迫状は石川さんが書いたものではないと科学的に証明されても、検察は認めないことについて怒り、再審開始にむけ一層の支援を求めた。弁護団からは、これまで191点の証拠が開示され、三者協議で新証拠の検討を後藤眞理子裁判長に求めていることや当時の石川さんの教育環境と部落差別の実態を理解してもらわないといけないことが中山武敏・主任弁護士がのべた。中北龍太郎・事務局長は、万年筆の違いを指摘し、インクの補充説を覆した「下山鑑定」や99・9％脅迫状は石川さんが書いたものではないことを科学的に証明した「福江報告書」についてのべ、事実調べにむけ、闘いは山場を迎えていると報告された。

連帯アピールを、袴田巌さんの姉・袴田秀子さん、袴田さんを支援する清水・静岡市民の会・山崎俊樹さん、志布志事件の川畑幸夫さん、足利事件の菅家利和さん、布川事件の桜井昌司さんらがおこない、石川さんのえん罪が晴れるため連帯して頑張ると訴えた。

集会後は、日比谷野外音楽堂から常盤橋公園まで、雨のなか約55分「不当逮捕55年！今度こそ事実調べ・再審開始を！」と訴えデモ行進をおこなった。

分科会について議論

全高・全青活動者会議

「全国高校生・青年活動者会議」を4月21日・22日、神戸市ホテル北野プラザ六甲荘でひらかれ、速水雅樹・教育文化運動部員、松井資喜・県連青年部長はじめ高校生2人、青年1人、事務局3人で参加した。

はじめに、中央本部を代表して、吉岡正博・中央執行委員が「今日の活動者会議をへて、8月の全青・全高の成功をお願いしたい」とあいさつした。つづいて、地元歓迎あいさつとして、坂本三郎・県連執行委員長から「この解放運動に誇りをもって、胸を張って一人ひとりを大切にしていくこの運動が社会を変えていくということで確認しあい、活動者会議が成功裏に終わることをお願いしたい」とあいさつした。

次に「はじめてみよう！これからの部落問題学習」と題して、石元清英・ひょうご部落解放・人権研究所所長から講演があった。また、中央本部事務局から部落解放第50回全国高校生集会・第62回全国青年集会についての開催要項（案）、集会スローガン（案）が提案された。

あいさつする吉岡正博・中執

つづいて、各分科会について、別表のとおりすすめることで確認され、2日間の議論し確認・決定した。

◆分科会

第1分科会
「部落問題入門」（大阪）

第2分科会
「狭山事件入門」（関東ブロック）

第3分科会
「高校生と部落解放運動」（青年サポートで兵庫県連・四国ブロック）

第4分科会
「今日から私も講師の先生（仮）」（九州ブロック）

第5分科会
「時事問題～根深く残る部落差別～」（京都・滋賀・奈良・和歌山）

◆フィールドワーク「新長田周辺の定住外国人との共生」「神戸の歴史と生田川～新川部落・賀川豊彦・水平社～」でひらかれる。

分科会の内容をはなしあう

現地視察を熊本に

全国農林漁業運動部長会議

第75期第1回全国農林漁業運動部長会議を4月26日、大阪・HRCでひらき、飯田勝・農林漁業運動部長と担当事務局が参加した。

はじめに、池田清郎・農林漁業運動部長から「今日は農林水産省交渉にだされる要望について議論をしたい。また、今年度の視察研修については、熊本県で考えている。この会議で議論し、熊本県連へ報告してほしい」とあいさつがあった。

つづいて、運動方針の確認、農林水産省交渉の要求項目（認定農業者制度・農機具・ハウス等施設・漁業権の問題）等についての話し合いをした。さらに、農林水産省の経営体育成支援事業について議論され「農機具については、農林水産省に要求をあげる前に各市町村行政・各都府県行政と打ち合わせをしたらどうか」などの意見がだされた。

最後に、全国農林漁業運動部長及び現地視察の日程（案）について議論され、会議をおえた。

◆視察研修

9月～11月の日程で、農業（果樹・野菜・米）が盛んである熊本県で開催予定。

狭山事件の再審と石川さん無罪を

湯浅町共闘会議学習会

湯浅町共闘会議では、狭山事件を中心に毎年、学習会をおこなっています。今年も2月28日に、狭山事件学習会をひらき、60人の参加者が集まり、県連から宮本修作・書記長を講師に迎え、狭山事件の現状と今後の課題や取り組みについて学習しました。

参加者は、開示された証拠の新鑑定内容に改めて石川さんの無実を確信するとともに、今後も自分たちができることをおしすすめ、一日も早い再審開始と石川さんの無実を勝ち取るために決意をあらたにしました。

（湯浅支部）

子どもの人権を尊重する保育内容を創造しよう！

企画運営会議

第41回全国人権保育研究集会の企画運営会議を4月11日、中央本部でひらかれ、16人が参加した。

「部落差別をはじめとするあらゆる差別の現実から学び、人権保育を創造しよう」を集会テーマに準備がすすめられるなか、分科会の柱について討論した。集会参加者の年齢や参加回数でも分科会の理解がかわってくる。「互いを認め合う」という文言には、多文化共生という意味合いや障がい

（3ページへ↖）

今後の日程

（7月）

22　部落解放・人権研究所第3回講座（大阪市・HRCビル）

23　狭山ビラ統一行動
就職差別撤廃にむけた要請行動（県庁ほか）
人権啓発シリーズ講座第1回（プラザホープ）
県・宅建協会・県連との三者意見交換会（アバローム紀の国）
第3回県共闘幹事会

25　人権課題調査結果説明会（書道資料館）
ふれあい人権フェスタ2018第1回全体会議（ビッグ愛）

27　和歌山市同和問題企業連絡会2018年度第1回幹事会（新橋ビル）

29　和歌山市長選挙

30　第1回全国生活福祉運動部長会議（大阪市HRCビル）
第49回高野山夏期講座第2回実行委員会（大阪市・HRCビル）

◆各支部大会
26　芦原

◆各市町村交渉
20　新宮